

## 【開催要旨】

第9回 木曾川上流水防災協議会(愛知ブロック)を開催し、「木曾川上流の減災に係る取組方針(令和3年度～令和7年度)」のフォローアップを行いました。フォローアップでは、江南市、稲沢市、一宮市、清須市から有効な取組内容について、ご紹介いただきました。

また、重点的な取組である「教育委員会と連携した小・中学校への防災教育の幅広い推進」及び「排水作業準備計画の作成と計画に基づく訓練」について、令和4年度の実施内容と令和5年度の取組(案)を確認し、流域タイムラインや洪水時におけるWEB会議ツールの活用についても共有を行いました。

- 日時： 令和5年7月11日(火) 16:00～17:00
- 場所： 豊田合成記念体育館 ENTRIO コンベンションホールA, B, C
- 出席者： 27機関(県、市町、気象台等 約30名)
- 議 事： 1) 木曾川上流水防災協議会規約の一部改定について  
2) 「木曾川の減災に係る取組方針」令和4年度のフォローアップについて  
3) 重点的な取組について  
① 教育委員会と連携した水防災教育の推進について  
② 排水作業準備計画の作成について  
4) その他の取組について(流域タイムライン、WEB会議ツールの活用)

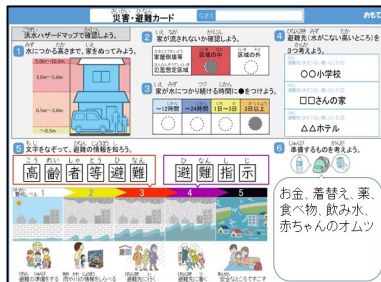


▲ 協議会の様子

### 「木曾川上流の減災に係る取組方針」における重点的な取組① 教育委員会と連携した水防災教育の推進について

#### 【令和4年度の取組内容】

- 教育委員会と連携した災害・避難カード(小・中学生向け)を新たに作成し、岐阜県内の小学校における出前講座での活用・見直しを経て、木曾川上流河川事務所が運営する防災教育ポータルサイトで公表しました。



▲ 災害・避難カード

#### 【令和5年度の取組(案)】

- 災害・避難カードを活用した試行授業に協力いただけるモデル校を選定し、試行授業の様子を撮影・編集するなどして、他の学校でも災害・避難カードを活用した授業を実施できる体制を構築します。
- また、チラシ配布やバナー掲載依頼等を通じ、ポータルサイト等の更なる周知を図ります。



▲ ポータルサイトのバナー・QRコード

### 「木曾川上流の減災に係る取組方針」における重点的な取組② 排水作業準備計画の作成について

#### 【令和4年度の取組内容】

- 令和4年度は、羽島市の位置する氾濫ブロックについて、住民向けの説明会や関係機関との排水作業訓練・合同ヒアリングを実施しました。
- 地元住民からは、「大規模氾濫時には、堤防に多くの車両が退避し、緊急車両の通行の妨げになる」などの意見が挙げられました。本計画の実現には住民理解も必要であるため、意識啓発につながる広報動画を作成しました。

#### 【令和5年度の取組(案)】

- 排水作業訓練や合同ヒアリング等を通じ羽島市の位置する氾濫ブロックで検討した内容を、水防災協議会に参画する市町村が属する他の氾濫ブロックにも広げていきます。



▲ 排水作業準備計画に関する動画の一部

⇒次頁に市町の有効な取組紹介の内容を記載

## 【市町の有効な取組紹介】

## 【江南市】洪水避難ビル・水防災教育の推進

- 想定外の降雨による全国各地の甚大な水害を受け、水害対策が急務であると実感し、想定浸水深よりも高い床や屋上のある既存の建物(民間施設含む)を「洪水避難ビル」として指定する取組を進めており、これまでに全25施設を指定している。
- 今後も啓発を続け、1箇所でも多くの施設が確保できるよう努めていく。
- 市内小学校において、洪水の避難行動について考えるきっかけとなる「マイタイムライン」を作成する講座を木曾川上流河川事務所に実施いただいた。
- 講座を受けた児童からは、「避難する時にどこへ避難すればいいのか分かって安心した」、「家族と災害時の避難について話し合うきっかけとなった」等の好評な意見があった。
- 今後も市内のイベント等による啓発活動や木曾川上流河川事務所と連携・協力により、水防災教育を推進してまいりたい。



▲ 澤田 江南市長

## 【稲沢市】防災教育を実践するための取組

- 稲沢市では平成26年度から小中学校を対象に、毎年2校を防災教育実践指定校に指定し、防災教育を実践している。指定校の指定期間は最長2年間とし、これまでに合計12校で実施している。
- 具体的には、有識者や被災地支援の経験がある方を招いた講演会、防災に関するDVDの視聴、「防災すごろく」や市のハザードマップを通じて話しあうことなどを実施している。
- これらの取り組みにより、様々な災害による危険を想定し、主体的に危険を回避する力を育成できると考えている。
- 子どもたちは、今後、南海トラフ地震や異常気象に伴う局地的な豪雨などを経験する恐れのある世代と言える。
- このような取り組みを通じて、防災・減災に関する考え方を育むことができる大人になれるよう、今後も防災教育を推進してまいりたい。



▲ 加藤 稲沢市長

## 【清須市】地域防災リーダー養成講座の開催(説明者:舟橋 危機管理課長)

- 災害の被害を最小限に食い止めるために、地域防災力を向上させるべく、地域防災リーダーを養成している。
- 今回の講座では、水害時の対応、避難所運営に関する講義に加え、避難所運営の実践演習を行った。また、防災講演会では、気象キャスターを講師としてお招きし、東海地方にとって危険な天気図、生命や財産を守るための対策等について、ご講演いただいた。
- 一方で、防災については子供のときから学び、一人一人が自然に防災意識を持つことが、地域防災への関心、防災活動への参加に繋がってくると思う。
- 学校と連携した防災教育について、まだこれからという段階ではあるが、今後、教育委員会とも連携した取組について検討してまいりたい。



▲ 養成講座の講義の様子



▲ 避難所での演習の様子

## 【一宮市】夏休みに親子防災教室を実施(説明者:危機管理課 稲葉専任課長)

- 一宮市では、久しく大規模な災害に見舞われていない。一方で、そのことが原因で災害に対して無関心な状況を生み出しているのではないかと懸念を持っている。
- そのため、家庭を巻き込んだ防災教育として、親子防災教室を企画し、平成27年度より毎年実施している。
- 市民の防災意識が劇的に変化するものではないが、市民に向けた防災啓発・PRの重要な機会と考えている。
- 参加した市民の方々には、親子で一緒に授業を受け、また体験することにより、防災に関心を持ってもらえたと感じている。



▲ ストローハウスの作成



▲ 防災カードゲーム